

# エンジニアから独立 自らの「働き方改革」を 実現しつつ、相談力を強化

だて ひさかず  
**伊達寿和氏**

CFP®認定者  
マネーライフ・ラボ三鷹  
(2016年8月独立)



2016年12月号  
「CFP®試験合格への道」

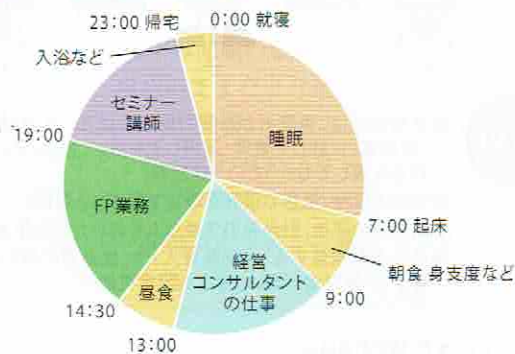


伊達寿和氏は元電機メーカーのエンジニア。「CFP®試験合格への道」に登場したときはCFP®認定者となり、FP事務所を開業したばかりだった。電機業界全体の経営環境が厳しくなる中、新たなキャリアを模索しようと片道1.5~2時間の通勤時間を利用してCFP®試験の勉強を続けた伊達氏。

図表1 ■ 齋藤岳志氏のキャリア

2001年	大学卒業、百貨店に就職
2005年	税理士事務所に転職 CFP®資格認定
2008年	転職、総務・経理部門に従事
2011年	経営コンサルティング会社へ転職
2013年	副業でFP事務所を開業
2014年	社会保険労務士登録・開業
2016年	会社を退職
2017年	完全独立(経営コンサルタントとFP業を並行中)

図表2 ■ 1日のタイムスケジュール



CFP®資格認定を機に退職したのは2015年。当初は資格を活かして再就職を考えていたが、最終的には伊達氏が住む三鷹市がSOHOやベンチャー企業向けに格安で提供しているコワーキングスペースを拠点にして、2016年8月にFPとして独立した。

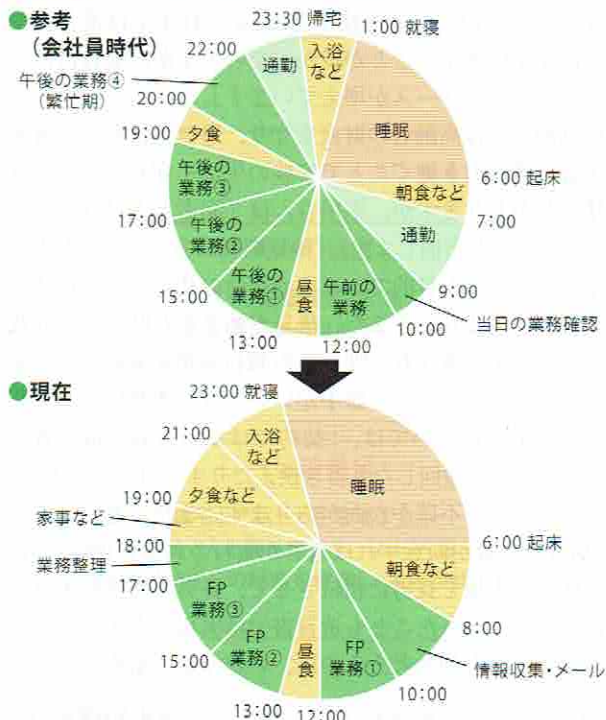
現在は職住近接のメリットを活かし、早く帰宅する伊達氏が夕食の準備をするなどワーク・ライフ・バランスが取れるようになり、妻も独立を喜んでいる(図表参照)。

伊達氏が力を入れているのが相談業務だ。相談の依頼の大半が「CFP®認定者検索システム」(P18参照)経由のもの。相談者は地域などから数名のFPに絞り、さらにそれぞれのホームページを確認、比べてやってくる。伊達氏が「保険も金融商品も売りません」と宣言しているから相談に来た、という人もいた。自宅に近いFPを探す人が多く、ほとんどが周辺在住者だ。今年度は「くらしとお金のFP相談室※」の相談員も務め、経験を積み、相談スキルに磨きをかけている。

集客方法は模索中だが、共同オフィスには起業した仲間もいて徐々に人脈が広がっているほか、積極的に地元のコミュニティに参加し、ネットワークづくりにも励む。ホームページも更新がないとマイナスイメージになると考え、コンテンツの更新は「必ず定期的にやること」を心がける。

現在のFPの収入はほぼ独立を前に想定していたとおり。早期退職制度での退職金や資産運用で補うほか、共働きなので家計のバランスは取れている。当面は100人の顧客獲得が目標だ。今はまだ目標の2割程度に過ぎないが、「地元で距離感が近い人たちを対象にしたい」と、焦らず努力を続ける日々だ。

図表 ■ 1日のタイムスケジュール



※東京・大阪など全国8カ所で実施する生活者向け無料体験相談